

ワクティブ通信

第14号
2024.1

♡ 今月の表紙 深堀眞喜子さん（小牧ケアサービスまごころ代表）

小牧ケアサービスまごころは、介護保険制度が誕生した平成11年に設立した有償ボランティア団体です。介護保険制度でできないことを住民相互の助け合いで行おうと、家事援助を主に活動を開始しました。現在9名のメンバーで活動中！

今、困ってる人を助けたい！と活動開始

介護保険制度が始まった当時、保健連絡員をしていました。今すぐに助けがほしいけど、制度を使うためには手続きを踏んでからしかサポートしてもらえない。介護認定がないとサービスを受けられない。そんな声を聞いて介護保険ではできない部分を迅速にやってあげたいと活動を始めました。



何でも屋さんだから何でもできる！

初仕事は、交通事故で病院に運ばれた女性。すぐに駆け付けて家事のサポートをしました。待たなすですからね。出産直後で頼る人がいない方に必要なものを届けたり、幼稚園の送迎、障がい者や高齢者の家事援助・身体介護・入浴など何でもしました。まだファミリーサポートセンターもなかったし、介護事業所も少なかったんです。

喜んでいただけることが嬉しい！

有償ボランティアだから利用料をいただきますが、利用者さんはいつもありがとうと言ってくれる。ボランティアしてるというより、お互い様というか、困ってる人のお手伝いをさせていただけることがありがたい。私たちも利用者さんから元気をいただいているんです。



新しいメンバーを募集中です！

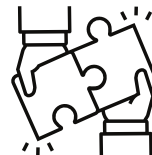
最初の頃は身体介護とかをやっていたけど、専門的なことは専門家に任せようと今は高齢者の家事援助が主です。社協や市役所を通じて依頼が来ます。最近50代の若い方がメンバーに加わってくれました。嬉しい！この活動をしているとすごく心が豊かになります。興味のある方はぜひご連絡ください。



病院へ付き添い

深堀さんは他にも高齢者の健康維持のための「リハビリ教室ももの会」（東部市民センター）と野口の郷でこまき山体操を行っている「こまきっこの会」の代表も務めていらっしゃいます！

令和6年度に実施する協働提案事業が採択されました



令和5年7月22日(土)に協働提案事業についてのヒアリングが行われ、2事業が採択されました。いずれも令和3年度から令和5年度までの実施事業を令和6年度以降も継続するため提案されたものです。

※協働提案事業化制度は、市民（市民活動団体）と行政それぞれが、協働で取り組むべき地域課題等を提案し、解決に向けて取り組むことにより、小牧市を「市民が輝く活気あふれるまち」とすることを目的としています。

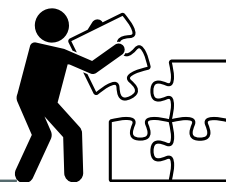
■市民提案型“きらめき” 市民（市民活動団体）から市へ協働事業を提案するタイプ

提案事業名	提案団体	担当課
桃花台活性化事業	桃花台を考える会	東部まちづくり推進室
中学生英語スピーチコンテストの開催	小牧・ワイアンドット友好市民の会	学校教育課

採択された事業は、来年度の実施に向け、協働する両者（市民活動団体と市）で事業の詳細な内容や予算の検討を進めます。

10/14 こまき市民討議会

まちづくりミーティング2023が開催されました



こまき市民討議会は、普段は行政やまちづくりに対して声を上げる機会が少ない市民の方の参加を促すため無作為抽出により参加を呼びかけ、まちづくりについて自分たちにできることは何かを討議することで、まちづくりや市政に関心をもってもらうきっかけづくりとして、一般社団法人小牧青年会議所とファシリテーターの会と市の協働で開催しているものです。ファシリテーターの会は、これまでのこまき市民討議会の参加者がつながり立ち上がった市民活動団体で、当日は実行委員としてグループ内で中立を保ちながら、活発な議論や合意形成を支援する進行役を担いました。

今回は「20年後の小牧を造ろう！～君のアイデアを形にしよう～」というテーマで、参加した31人が7グループに分かれて討議しました。

また、まちづくりに興味を持った参加者が次のステップへ進む支援をするため、ワクティブこまきのPRも行いました。



グループでの討議の様子



各グループの討議内容を発表

参加してみませんか

**3/10
(日)**

こまなびサロン×ワクティブこまき 生涯学習・市民活動人材育成講座

団体のビジョン・ミッション（理念）を言葉にしよう！



新しいメンバーを募るとき、人に活動を伝えたいときなどには、団体のビジョン（目指す社会の姿）とミッション（そのために自分たちは何をするか）を言葉にしておくことが重要です。団体内でビジョン・ミッションを話し合っつくる方法を学びます。

と き：3月10日（日）13:30～16:00

申込みはこちらから→

ところ：ワクティブこまき

対 象：小牧市内で、市民活動・生涯学習活動に関わっている方

定 員：20人 ※参加無料



**3/26
(火)**

小牧市市民活動助成金／地域に還元チャレンジ助成金 説明会を開催します！



小牧市の市民活動団体向け助成金の制度について説明会を開催します。

団体の活動をステップアップしたい、実施したい新しい事業がある団体さんはぜひご参加ください。

と き：3月26日（火）19:00～20:00

申込みはこちらから→

ところ：ワクティブこまき

対 象：小牧市内で、市民活動・生涯学習活動を行っている、またはこれから行おうとする方

定 員：20人 ※参加無料



団体交流会を開催しました

令和5年12月9日(土)、ワクティブこまきにて団体交流会を開催しました。集まった19人が、自分たちの団体で「できること（can）」「やりたいこと（want）」「求められていること（need）」を考え、他の参加者から意見をもらいながらブラッシュアップしていくことで、新たなアイデアを発見してみようというテーマで交流しました。

「みんなの居場所づくり」や「若者から若者へ人生講座」「予防座談会」など面白いアイデアがたくさん出され、自分たちの活動を見直しながら、新たな活動を考えるいい機会となりました。

普段接点のなかった団体同士が「今度一緒にこういうことができるといいね」などといった話が弾み、新たなコラボレーションにつながる兆しを感じました。



小グループに分かれて意見交換



団体向け講座「スムーズな話し合いの方法を学ぼう！」を開催しました！

令和5年12月2日（土）、「スムーズな話し合いの方法を学ぼう！」講座をワクティブこまきで開催しました。講師はまちづくりファシリテーターの林加代子さん。前半に林さんのミニレクチャーを聞き、後半は話し合いの場で起きている困ったことや、それを解決する工夫を参加者全員で話し合いました。

《ミニレクチャー》

■会議は「段取り9分」。始める前に「会議が終わったときにどんな状態になっていたいのか」（会議の目的）「何回の会議で目的を達成する？」「各回の目標は？」（目標）「そのための進め方、手法は？」「問いかけは？」「参加者は？」（手順）などを考えて会議を企画する。

そのために活用できる「プロセスデザインシート」を紹介してもらいました！

■コンテンツ（話し合いの内容）とプロセス（みんなが関われるための話し合いの交通整理）を意識して、ファシリテーターはプロセスに関わる。

■これをすると、会議がもっとうまくいく！

①チェックイン、チェックアウト ②ホワイトボードを活用

③最後の確認

《みんなの困りごとと工夫》

■最後の方で「やっぱり納得できない」とちゃぶ台返し起きる。

→こまめに「ここまではこういうことで合意しましたね？」と確認する。

■関係ない話を始めちゃう人がいる、納得していないことを言えなくてあとで文句を言う人

→会議終了後に「おしゃべりタイム」を用意する。

■意見が出ない。

→議題を提示するときに答えの例も一つ出しておく。付箋などを使って意見を出してもらう。

《参加者の声》

- ・会議について悩んでいるのが自分だけではないとわかって安心した。
- ・参考になる工夫をたくさん知ることができた。



☆講座の内容をもっと詳しく知りたい！会議で困っている！という方はワクティブこまきまでお問合せください。



講座の様子



小牧市の市民活動に関することは ワクティブこまきへご相談ください！

活動する団体を探したい 助成金を探している 活動の困りごとを相談したい 活動する場所を探している

何でも気軽にどうぞ!!



こまき市民交流テラス

ワクティブこまき

こまき市民交流テラス ワクティブこまき 〒485-0041 小牧3-555 ラピオ2階

☎：0568-48-6555 FAX：0568-48-6556 ✉：wactive-komaki@grace.ocn.ne.jp

開館日：月～土/10時～21時 日/10時～17時30分

休館日：第3火曜日とその前日の月曜日（月曜日が休日の場合は営業、水曜日が休館）